

研究課題名	突然死二次予防目的の植え込み型除細動器の適応を検討するための院外心停止蘇生後患者の生活機能学的予後の観察研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院循環器科/さいたま赤十字病院循環器科
研究責任者	所属 循環器科 氏名 新田 義一
研究期間	(西暦) 2020 年 6 月 ~ 2021 年 3 月
研究の意義・目的	院外心停止蘇生後患者に対しては突然死の二次予防目的に植え込み型除細動器植え込みは、良好な生活機能予後が1年以上見込まれる患者に対して適応とされている。また、蘇生後脳症は心停止蘇生後の不可逆性後遺症として知られ、生活機能予後に大きく影響する。院外心停止蘇生後1年の生活機能的予後の観察研究を行い、1ヶ月時点の生活機能学的予後と1年の生活機能学的予後との相関性を検証する。これをもとに蘇生後急性期の患者状態が突然死二次予防目的の植え込み型除細動器適応を決定する一助となりうるかを検証する。
研究の方法 (対象期間含む)	2015年1月1日から2018年12月31日までの間に、武蔵野赤十字病院/さいたま赤十字病院2施設に院外心停止で救急搬送（武蔵野赤十字病院 1010例、さいたま赤十字病院 1382例）され、蘇生後自己心拍再開し、心血管原生の心停止が疑われた症例（武蔵野赤十字病院 153例、さいたま赤十字病院 252例）を対象とした。2施設とも地域基幹病院のため、急性期治療を終了した患者は地域医療連携に準じて後方病院に転院し、治療継続、もしくは自宅退院、自宅療養を継続するため、院外心停止蘇生後1年の患者状況を確認するため、転院先病院に情報提供依頼、本人、キーパーソンへの電話確認により予後調査を行う。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①国内、海外学会にて発表、もしくはジャーナルに論文投稿を予定する。②1) 患者背景：性別、生年月日、身長、体重、BMI、喫煙習慣、内服薬2) 院外心停止発症日、当院への救急搬送日：発症年月日、3) 患者背景（合併症・既往歴）：高血圧、糖尿病、慢性腎臓病、維持透析、冠動脈疾患既往、冠動脈疾患以外心疾患既往、心停止原因疾患4) 心停止波形：心静止、心室細動/心室頻拍、無脈性PEA5) 特定行為：目撃者の有無、目撃者による蘇生行為、救急隊による蘇生行為6) 自己心拍再開の有無、病院来着前後の自己心拍再開、人工心肺装置の有無、低体温療法の有無7) 検査所見：血液検査（血液ガス分析、血算、生化学検査）、心臓カテーテル検査・治療の有無、所見（冠動脈造影検査、経皮的冠動脈インターベンション）8) 生存退院の有無、1ヶ月生存の有無、神経学的所見(CPC scaleに準じる)、1年生存の有無、神経学的所見、生活機能レベル、退院・転院先、死因（心血管原生死、非心血管原生死）、植え込み型除細動器の有無 ③武蔵野赤十字病院 循環器科医師 責任者：足利貴志/さいたま赤十字病院 循環器科医師 責任者：稲葉理 ④武蔵野赤十字病院 循環器科 足利貴志/さいたま赤十字病院 循環器科 稲葉理
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 循環器科 氏名 新田 義一 TEL：0422-32-3111（代表）6812（事務局内線） FAX：0422-32-3525